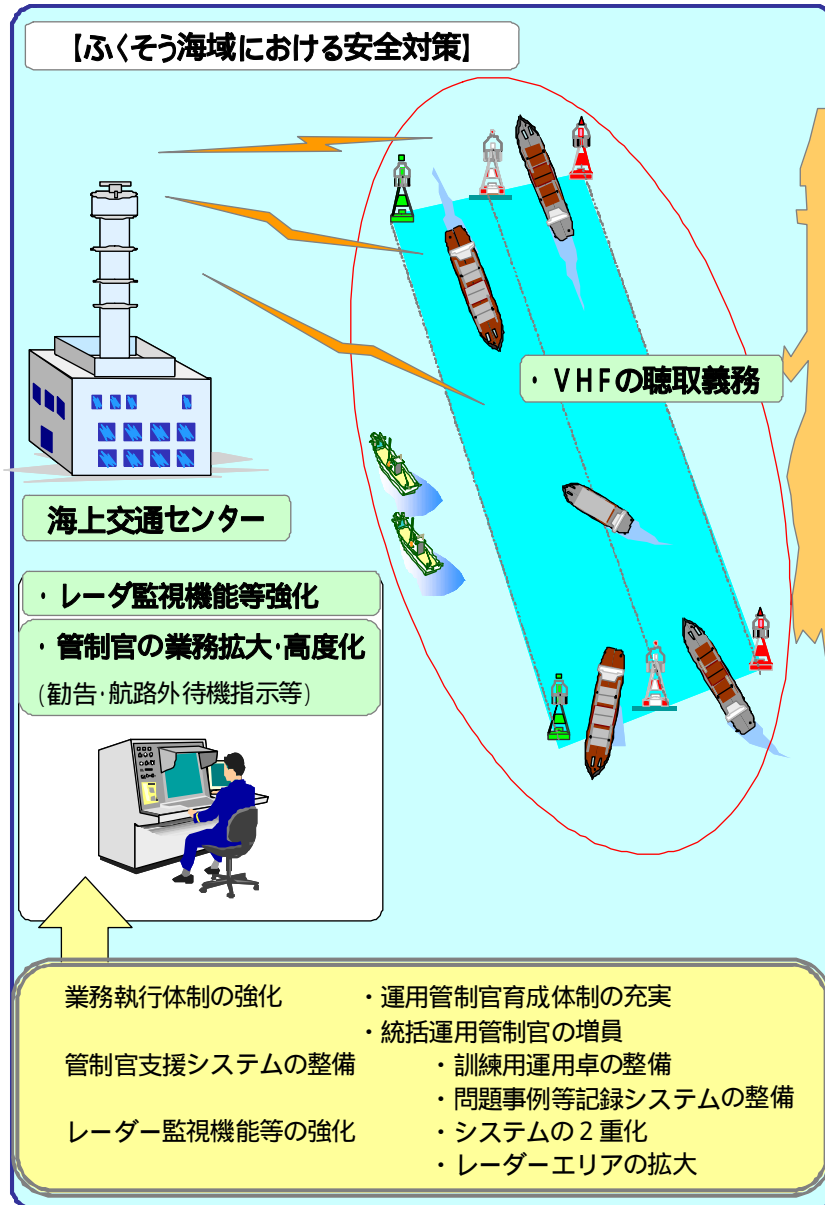


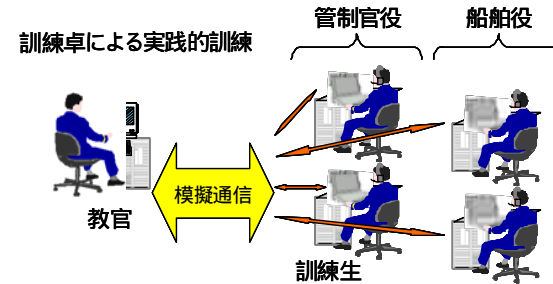
ふくそう海域における船舶交通安全対策の推進について

1. 海上交通センターの機能向上及び信頼性強化

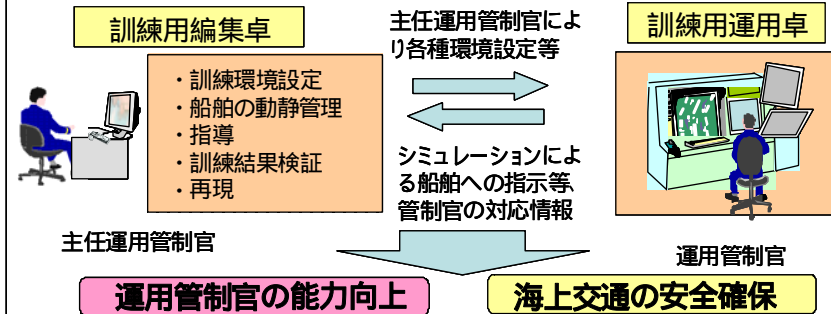


・運用管制官育成体制の充実

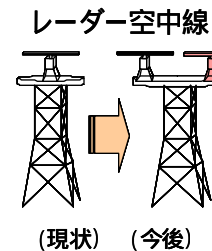
運用管制官研修、運用管制業務監督者研修、職場研修指導者研修
教育機関での研修及び技能審査の実施等を行う職員の設置
資格認定制度の構築



・訓練用運用卓整備

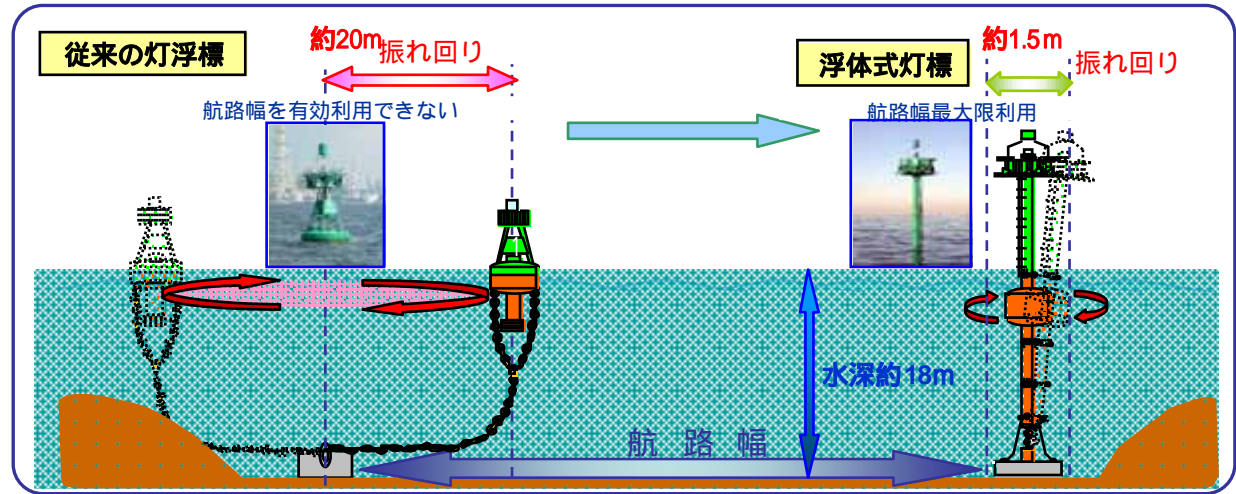


・システムの2重化



2. ぶくそう海域における航路標識等の高度化整備

巨大船、危険物積載船、外国船舶が多数通航する海域において、航行船舶の指標となる航路標識等の視認性、識別性を向上させるとともに、船舶の航行安全に必要な潮流情報の充実強化を図るなどの高度化整備を行い、海上交通の安全性と効率性の向上を図る。



航路標識の省エネ・エコロジー化



事故の蓋然性大

光源のLED化 電源の太陽電池化



災害時でも自立型電源であるため安定的な電源供給可能

災害に強い航路標識の整備

災害時においても安全な海上交通環境を確保するため、被害を受けやすい商用電源を利用する航路標識の電源を太陽光発電等自立型電源に変更するとともに、老朽化した航路標識施設の耐震・耐波浪化の整備を推進する。

救助救急活動の充実

1. 自己救命策確保キャンペーンの推進

小型船舶やマリンレジャー愛好者等に対して、

- ・ ライフジャケットの常時着用
- ・ 防水パック入り携帯電話等の連絡手段の確保
- ・ 緊急通報用電話番号「118番」の有効活用

の「自己救命策3つの基本」を浸透させるため、引き続き周知・啓発活動を実施する。

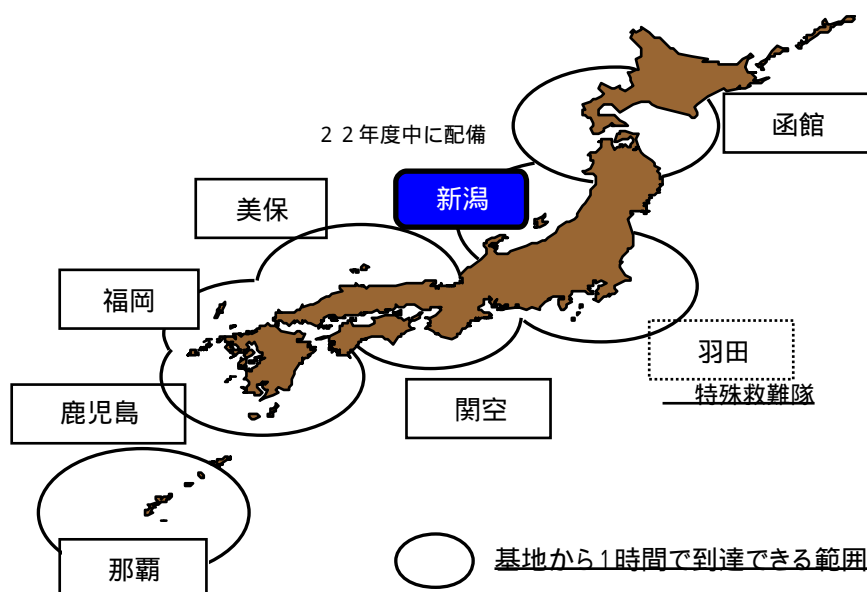


2. 救助勢力の充実・強化

巡視艇への複数クルー制の導入を進めるほか、ヘリコプターからの降下・吊上げ救助技術、潜水能力、救急救命処置能力を兼ね備えた「機動救難士」を航空基地等に配置するなど、救助勢力の充実・強化を図る。



フェリー「ありあけ」座礁横転



3. 洋上救急体制の充実

洋上で発生した傷病者に対して、医師による迅速な医療を行うための体制の充実を図る。



医師等による船内での応急治療